

## NPB ガールズトーナメント（競技者必携補足説明）

※ 競技者必携 2022 § 2 競技に関する連盟特別規則（48P～52P）までを熟読の上ご参加ください。

下記に補足説明を記載します。《本文のとおり》の場合は省略しております。

### 1 正式試合について

#### (1) 6回戦

① ② ③ 《本文のとおり》

④ 守備時間が長い場合（概ね 20 分）・・・

※ 天候状態によっては、給水タイムを 20 分より前に早める場合があります。

給水タイムは試合時間に計上しません。時間計測は、給水タイムに入った時点から球審の再開の「プレイ」までの時間を試合時間から除外します。

※ 3回終了後（タイブレーク時は6回終了後）に、5分間の給水タイムを設けます。給水タイムは試合時間に計上しません。時間計測は、第3アウトが成立し、内野手がファウルラインを越えて給水タイムの放送から試合再開の放送までの時間を試合時間から除外します。（5分間）

なお、負傷・治療の場合の時間計測とは異なります（後述）。**要注意**

#### (2) コールドゲームの得点の扱いについて

均等回の得点をもって勝敗を決する記載であり、得点差によるコールドゲームは適用しません。

### 2 延長戦 《本文のとおり》

### 3 タイブレーク方式について 《本文のとおり》

### 4 特別継続試合について

(1) (2) (3) (4) 《本文のとおり》

(5) ① 《本文のとおり》

② 元の試合の試合前に提出された打順表に記載された選手しか出場できませんので、元の試合の打順表には登録選手全員の氏名を記載してください。

③ ④ ⑤ 《本文のとおり》

### 5 抗議権を有する者 《本文のとおり》

### 6 《本文のとおり》

## 7 学童部の投球数制限について 《本文のとおり》

ただし、翌日以降に行われる特別継続試合における「投手の投球制限」については下記のとおりとなります。

※1 特別継続試合の投球数の取り扱いは、元の試合で投じた球数を引き継ぎ、特別継続試合で投げられる投球数は残りの球数だけとなります。

※2 特別継続試合に勝利したチームの投手は、同日に行われる試合において1日の投球数を超えない範囲で登板できます。

## 8 《本文のとおり》

## 9 試合時間の管理について 《本文のとおり》

ただし、特別継続試合における試合時間については、元の試合時間の残りの時間のみ行うものとします。(7/8 理事会承認事項)

また、学童部の試合において、負傷・治療に要した時間は試合時間に計上しません。運用については下記のとおりとなります。(7/8 理事会承認事項)

※1 選手、監督、コーチ、審判員の負傷・治療のための時間は試合時間に計上しません。(学童部のための特別措置)

※2 負傷・治療のため中断にするかしないかは球審が判断し、中断する場合は中断開始時間を本部席および記録員に伝えます。なお、グラウンドに出るのが、少し遅れるだけの場合は中断とはしない場合があります。

※3 中断時間の計測は、本部席(記録員)が行い、球審の「プレイ」宣告までの時間を除外します。

## 10 変化球に関する事項 《本文のとおり》

### 【リエントリー制度の導入について】

本大会は、選手の熱中症や疲労による疾病予防と、できるだけ多くの選手に出場機会を与えるためリエントリー制度を採用します。

(1) 先発メンバー9名および途中出場した選手を含み、1度に限り再出場可能とします。

(2) 再出場の回数は、選手1人に対し1度までとします。

(3) 再出場する場合は、打順は元の打順となります。守備の変更は可能ですが、投手・捕手が再び投手か捕手に戻ることは、肘・肩の障害予防を考慮し推奨しません。

以上

《以下は役員・審判員用》

上記(1)～(3)までと異なる交代をした場合の処置は下記のとおりとします。

1 守備者および代走者にリエントリーオーバーの違反があった場合

リエントリー回数をオーバーして出場した選手は、気付いた時点で交代可能な選手と交代する。(ペナルティなし)

2 打者に違反があった場合

(1) 打順の誤りまたはリエントリーオーバーで出場した場合は、共に不正位打者扱いとし、規則 6.03b (110P) のとおり処理する。すなわち、

① 打撃が完了する前にアピールがあった場合は正位打者と交代する。またはリエントリーオーバーの代打を取り消し、それまで出場していた選手が正位打者となる(ボールカウントを受け継ぐ)。正位打者に改めて代打を起用することは可能である。

② 打撃が完了し、投手が次の投球を投げる前にアピールがあった場合は正位打者がアウト、走者戻る。リエントリーオーバーの選手は、交代可能な選手と交代する。

③ 打撃が完了し投手が次の投球を投げアピール権が消滅した場合は、不正位打者の打撃は認められる。リエントリーオーバーの選手は、交代可能な選手と交代する。

④ リエントリー制度を最大限活用した後に負傷者が出て、出場可能選手が不在になった場合は、役員・審判員で協議し可能な限り没収試合にはしないよう努力する。例) 打順が来たらアウト、守備は8名での続行を認めるなど。

以上